



SureColor 新開発「UltraChrome GS3 インク with RED」搭載多色機 「SC-S80650」製作現場をレポート

下町情緒あふれる東京の町屋駅周辺から徒歩5分ほどの距離に事務所を構える(株)ARC。主力業務での確立が困難とされるカーラッピングの専門店として、2015年2月から本格的な操業をスタート——。

代表を務める橋本氏は、Webデザイナーの出身で、いわゆるサイン業界に縁もゆかりも無かった。開業から数年前、街角でキレイにラッピングされた車を目にした瞬間、今までにない感動を覚えた。「自分のデザインした車が街で走る姿を見たい」。この強い思いから、すぐさまメディアメーカーの施工講習会にエントリー、その知識を技術として習得できるよ

う、試行錯誤の中で修行を繰り返しつつ場数を踏み、念願のカーラッピングによる起業を果たす。

現在は、前職で培ったノウハウを活かしたネット主体による営業展開が奏功し、全国にあらゆる業種業容の顧客を抱える。仕事量は増す一方で、近頃は徹夜の続く日々も珍しく無かった。この状況を打破しようと今年6月末、インクジェット出力の内製化に踏み切る。

同社最大の武器であるデザイン力に一層の磨きをかけるべく選択されたマシンが、エプソンのエコソルベントインク搭載高画質モデル「SC-S80650」だ。

「SC-S80650」は、サイン&ディスプレイ業界向け大判インクジェットプリンター(IJP)として今年5月に発売。新開発「UltraChrome GS3 インク with RED」の採用で、広色域・明るい色表現・光沢感ある高画質を達成。乾燥性も高く、現場目線での出力後の巻き取り時間短縮にも配慮されている。「PrecisionCore TFP プリントヘッド」「Epson Wide CMYK Input Profile」なども搭載、画質と生産性の両立を実現している。

本誌では、代表取締役・橋本氏と取締役・小林氏に、SC-S80650の導入の背景と決め手、使用感について話を聞いた。



株式会社 ARC (アーク)

【企業データ】
創業／2015年2月
代表／橋本俊治
所在地／東京都荒川区荒川6丁目28-7
URL／<http://arc-monde.jp/>

【営業品目】
ステッカー製作販売・デザイン製作・(出張を含む)施工

【主な設備】
低溶剤インクジェットプリンター1台／ラミネーター1台／カッティングマシン1台ほか



左から代表取締役・橋本氏と取締役・小林氏

——具体的な業務内容について

仕事の大半を占めるのがカーラッピングです。キレイに製作・施工することはもちろんですが、3Dグラフィックスなどの最先端技術や発想力を武器に、多彩なアイデアをお客様に提案できるのが当社最大のウリとなっています。

クライアントは様々で、企業の法人車や宣伝カーから、一般消費者の単色ステッカーによるボディーチェンジ、いわゆる痛車まで、多岐に亘ります。主にウェブ上で営業展開を図っていることから、商圏は北海道から沖縄まで全国各地に及びます。現在の仕事量としては、一般乗用車に換算すると月に15台前後に当たります。

——導入の背景と決め手

IJP導入前は、強みであるデザイン力を活かせるよう、外注先も厳選し案件別を使い分けていました。それでも、パソコン上で見ている色と実際の出力物では、誤差が生じてしまい何度も出力会社に足を運ぶことも少なくありませんでした。顧客の数も増していく中、出力の工程で業務がストップし、次から次へと仕事が溜まっていく状況に陥り、この流れを断ち切るべく内製化の決断に至りました。

当初は、はじめてプリンターを導入することから、外注先でよく使われているマシンにしようと考えていました。エプソンのプリンターは展示会で見かけ、キレイだなという程度の印象で、正直候補には挙っていませんでした。

購入の検討に入ったタイミングで、ちょうどエプソンから新機種が発売されたと聞き、サンプルだけでも見ようと取り寄せたところ、画質の高さにビックリというより、衝撃を受けました。これまでに見たことのない鮮やかさ、瞬

時にエプソンに決めようと決断しました。

導入に向けてテストを重ねていく中、懸念事項が見つかるどころか、色の再現性の高さが際立つばかり。特に高画質モデル「SC-S80650」の表現力は素晴らしく、早く欲しいという気持ちが日に日に増していきました。

——初の内製化

最初は苦労すると周りから聞いていたので、慣れるまでに時間がかかることは覚悟していました。ところが実際に操作をはじめると、初日から何の戸惑いもありません。市販のプリンターと変わらないくらいです。操作パネルなどがシンプルで、覚えやすく直感的に扱える点もスムーズに進んだ一因です。トラブルや不明点があれば、すぐにメンテの方も駆けつけてくれるので、不安もなく毎日稼働しています。マシン導入から2ヵ月程度ですが、およそ1.5倍の仕事量をこなせるようになりました。

——現状の使用感

本職がデザイナーのため、自分のイメージどおりに出力できない時ほど歯がゆいものはありません。これまで外注では、淡い黒などがベタと同じように潰れてしまい、大判IJPの限界と諦めていましたが、エプソンのマシン導入によって再現可能となったのは大きな前進です。

導入した「SC-S80650」は、青や赤など問わず非常に繊細な表現ができるばかりか、パソコン上のRGBで見ているデザインがCMYKに変換しても、従来のプリンターに比べくすみをほとんど感じません。最近の案件では、光をイメージしたグラフィックが本当に発光して見ると、ユーザーからたいへん喜んでいただけるようなこともありました。

——今後の展望

当社へのデザイン製作をメインとするカーラッピングのオーダーは日増しに多くなっています。国外からの問い合わせもある中、エプソンプリンターのポテンシャルを最大限に活用し、少しでも我々のデザインでカーラッピング市場の活性化に貢献したいと強く願っています。



SC-S80650

インク種別/エコソルベント
出力解像度/最大1440dpi
出力速度/18.2㎡/h
(720×720dpi 6pass 塩ビ出力時)

最大印字幅/1616mm
インク色数/CMYK、LC、LM、オレンジ、グレー、
レッド、ホワイトまたはメタリックシルバー
外形寸法/W2620×D880×H1338mm(最小時)
重量/284kg(インクカートリッジ含まず)
標準価格/¥2,200,000(税別)

【エプソンホームページ】<http://epson.jp/surecolor>

【お問い合わせ先】プリンター購入ガイドインフォメーション 050-3155-8100